

ささえ、ささえられて
ホッと、安心～みんなの笑顔

知ってほしい 福祉の話

このコーナーでは、福祉の制度やよくある質問についてお知らせします。

第15回目は【ふれあい収集】についてです。

福祉課では、高齢者世帯、身体障害者世帯など、粗大ごみの処理をご自分で行うことが困難な方のご家庭に職員が伺い、ご本人に代わって粗大ごみを環境センターなどの処理施設へ運び出す「ふれあい収集」を行っています。

◆利用できる方

以下のいずれかに当てはまる方で、ご自分で粗大ごみを運び出すことが困難と認められた方。

- ▷65歳以上の高齢者のみで構成される世帯の方
- ▷身体障害者手帳の交付を受けている方のみで構成される世帯の方

◆費用 無料

◆申し込み方法 お住まいの地区を担当する民生児童委員までご相談ください。

収集できるもの

- ▷机
- ▷タンス
- ▷自転車
- ▷中型の金属製家具、器具など

収集できないもの

- ▷パソコン
- ▷タイヤ
- ▷スプリング入りのマットレスやソファー
- ▷家電リサイクル法の対象品（冷蔵庫、エアコン、テレビ、洗濯機）
- ▷定期的に回収している通常のごみ（燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなど）
- ▷産業廃棄物

※これらは一例です。収集できるごみとできないごみは細かく決められていますので、判断に困った場合は、福祉課へご相談ください。

問い合わせ 福祉課高齢者係（内線160）

一人ひとりが人権を
尊重する社会を目指して

人権のひろば



【人権に関する市民意識調査の結果】

前回は、「女性」「子ども」の人権についてお知らせしました。今回は、「高齢者」「障がい者」の人権についてお知らせします。※調査結果は、市ホームページでもご覧になれます。

高齢者の人権

高齢者の人権問題について特に問題だと思うことは

悪徳商法などの被害が多いこと	26.1%
経済的に自立が困難なこと	26.0%
高齢者を邪魔者扱いすること	21.4%
家族による介護放棄や虐待	21.3%

◀回答数1,070・複数回答による上位から抜粋▶

また、家族構成別では、一人暮らしの方がそれ以外の世帯の方よりも「経済的に自立が困難なこと」を問題視する傾向が若干強くなっています。

高齢者の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、2位以下を引き離して「年金・住宅・福祉サービスの充実によって、高齢者が自立して生活しやすい環境を整備する」（44.0%）が最も多く、「高齢者一人一人にあった保健、医療、福祉サービスを充実する」（25.7%）、「高齢者のための相談・支援体制を充実する」（24.7%）の順になっています。

障がい者の人権

障がい者の人権問題について特に問題だと思うことは

就労の機会が少ないこと	25.7%
障がいのある人となない人との交流が少ないこと	24.9%
差別的な言動を受けること	24.5%

◀回答数1,070・複数回答による上位から抜粋▶

回答を性別で見ると、男性では「差別的な言動を受けること」（24.7%）が最も多くなっていますが、女性では「就労の機会が少ないこと」（26.8%）が最も多くなっています。

障がい者の人権擁護に必要なことについて尋ねたところ、「障がい者が必要とする福祉サービスなどを拡充する」（25.8%）が最も多く、次いで「学校教育・生涯学習を通じて障がい者の人権を守るための教育を行う」（24.8%）、「障がい者のための相談・支援体制を充実する」（24.0%）の順になっています。